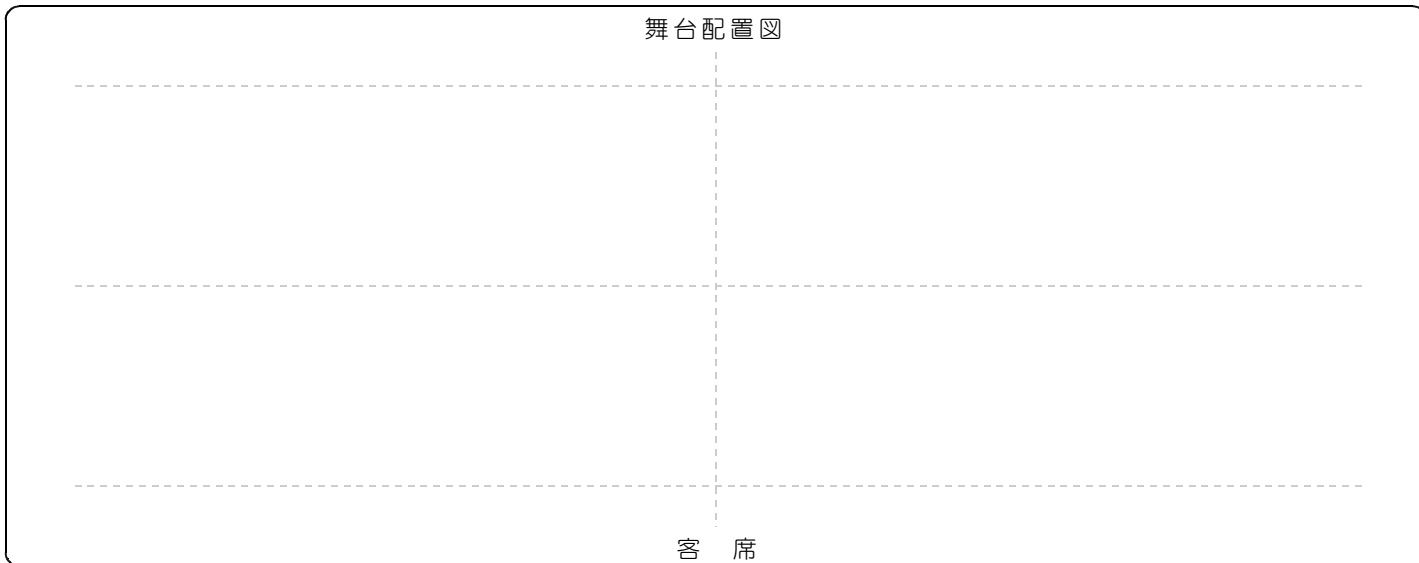


No.	<b>箏によせる変奏曲</b>	演奏者数	演奏時間
-----	-----------------	------	------



表示記号一覧	一 箏	= 17絃	+ 三絃	0 尺八	≠ 他楽器	* マイク	□ モニター	□ 毛氈	W 屏風
立奏	立奏台	大 台	小 台	椅子	大 台	小 台	譜面台	台	ハイター 枚
座奏	琴台	台	見台	台	山台	録音 有：無	録画 有：無	他	
始	緞帳：暗転	板付	毛氈 緋：紺	音響					
終	緞帳：暗転	板付	屏風 金：銀	照明					

<b>調絃表</b>	ピッチ A=44		編成：箏											
Part	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾	
箏						E					E			平調子より四九一音↑ 一は五の乙=D
	<b>D</b>	<b>G</b>	<b>A</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>D#</b>	<b>G</b>	<b>A</b>	<b>C</b>	<b>D</b>	<b>D#</b>	<b>G</b>	<b>A</b>	

編成欄には面数を記入 開始調絃は太字 転調は上下の欄 ハーモニックスは右肩に○

作曲年 1995年 委嘱者 梅岡友紀子 構成 箏独奏 時間 一 出版楽譜 ミュージックエス  
 解説 日本的五音音階で書かれたこの変奏曲では、かなり長い前奏の後に主題が現われるが、この主題そのものが二声的に書かれているので、それは主題と変奏を兼ねているようにもみえる。しかし実際には次に現われる変奏をIとしてVIIまでが、この曲での変奏として構成されていて、主題の再現というおまけ付きになっている。また演奏にはかなり自由な揺れを持つよう指示されている。1995年12月作曲。 [作曲者] 収録媒体 一